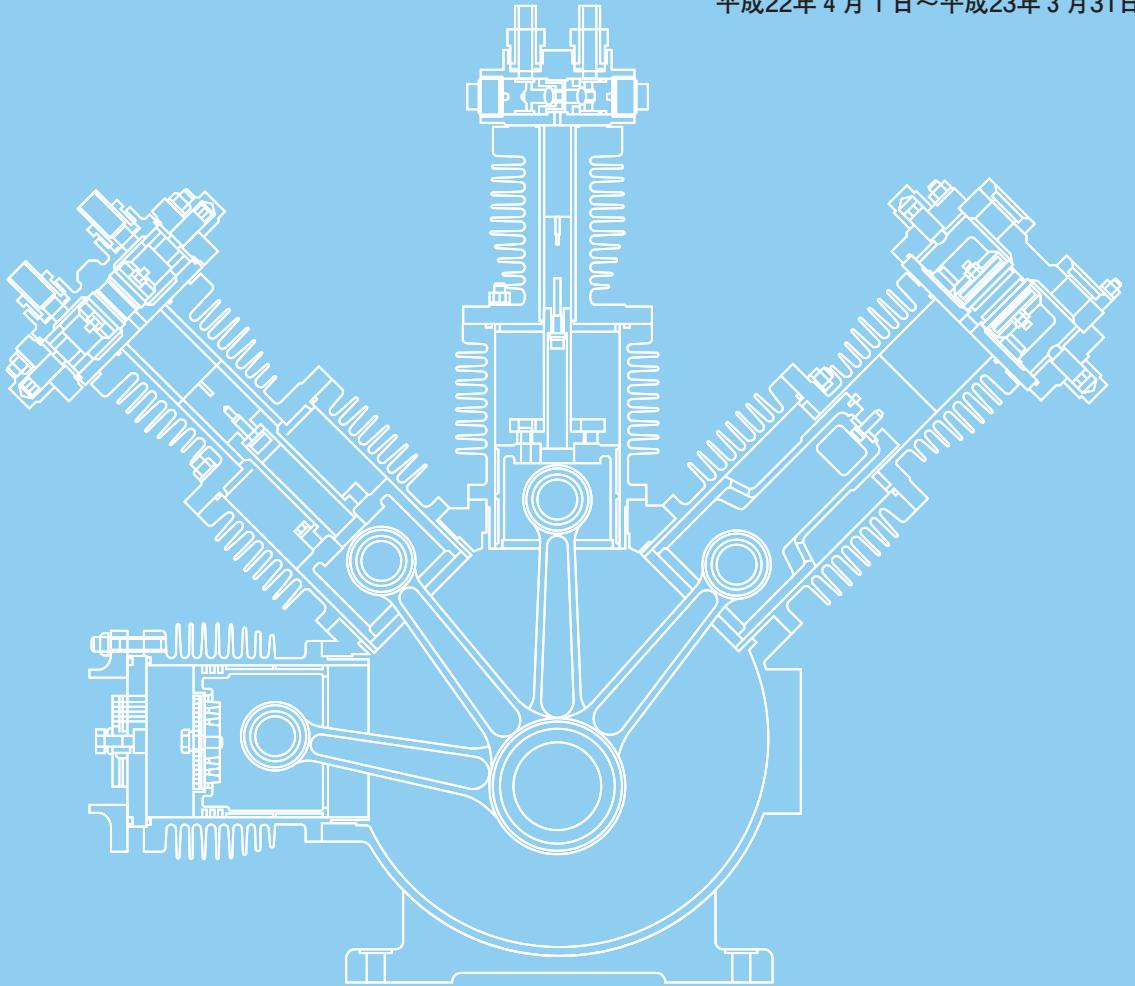


株主通信

第78期期末報告書

平成22年4月1日～平成23年3月31日



この報告書は、環境に配慮し、
植物油インキを使用しており
ます。



株式会社加地テック

株主の皆様には益々ご清栄のこととご拝察申し上げます。

また、この度の東日本大震災により被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。

当社におきましては、幸い社員や建物・設備に然したる被害はなく、平常通り業務に当たっていることを先ずはご報告申し上げます。

平成22年度（平成23年3月期）は売上では前年比横這いで終わりましたが、当期純利益では前年比48.9%増の321百万円を達成することができました。しかしながら、市場環境は依然として厳しい状況にあり、平成23年度の業績動向は予断を許しません。特に、国内市場においては設備投資の低迷が続いており、石油化学や工業ガス用のみならず、従来の当社主力商品であるPET用、CNG用の圧縮機も大きな成長が期待できないものと思われます。

かかる情勢下、当社は平成23年度からの3ヵ年経営計画を策定し、売上100億円の達成を目標に、様々な施策を実行してまいります。この計画の根幹を成す経営方針は、「国際化の推進」、「価格競争力の強化」「技術・商品開発への注力」であります。この旗印の下、国内での顧客基盤をしっかりと維持しつつ、国際市場でも、国内外のメーカーに打ち勝つ技術・価格競争力を備えた企業になることを目指します。

株主の皆様、取引先の皆様におかれましては、倍旧のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



平成23年6月

代表取締役社長
小林 士郎

【事業の経過および成果】

当事業年度における日本経済は、昨年夏場以降の急激な円高進行、エコカー減税・購入補助金等の景気刺激策が一巡したことから、輸出・生産が低下するなど足踏み状態となっていました。その後米国での雇用改善や減税措置による個人消費の回復力の高まり、そして中国等新興国での堅調な経済成長から、円高の長期化や原油価格高騰といった懸念材料を抱えながらも、輸出の持ち直し、生産の回復で、景気を取り巻く環境は良好の兆しがみえつつありました。

しかしながら、平成23年3月中旬に発生した東日本大震災の影響で、生産設備の毀損や物流の寸断により生産活動は落ち込んでおり、原子力発電所事故に伴う電力供給の復旧に時間を要すると経済活動の停滞が長期化する恐れがあります。

このような状況の中、当社の事業年度の受注高は、前年同期比36.4%増の6,121百万円となりました。圧縮機事業においては、前年同期比37.1%増の6,041百万円となり、繊維機械事業においては、前年同期比0.5%減の80百万円となりました。

当事業年度末受注残高は前年同期比0.8%増の1,773百万円となりました。圧縮機事業においては、上記のとおり受注高は増加したものの、売上高とほぼ同額であったことから、前年同期比2%増の1,759百万円となり、繊維機械事業においては、前年同期比60.0%減の14百万円となりました。

当事業年度の売上高は、前年同期比0.8%減の6,108百万円となりました。圧縮機事業においては、化学プラント用特殊ガス圧縮機の売上がさほど伸びなかったものの、ペットボトルブロー成形用圧縮機の売上が増加したことにより、前年同期比1.5%減の6,006百万円となり、繊維機械事業においては、前年同期比73.7%増の101百万円となりました。

売上総利益は、競争激化による高採算案件の減少や円高による輸出案件の採算悪化などから、前年同期比14.0%減の1,367百万円となりました。上記影響を受け、営業利益は前年同期比18.0%減の496百万円、経常利益は前年同期比17.6%減の502百万円となりました。当期純利益は、特別損益の変動により前年同期比48.9%増の321百万円となりました。

トピックス

【今後の見通し】

今後の日本経済は、震災による影響から、国内では個人消費の停滞や復旧・復興関連以外の設備投資の先送りにより低迷が予想されます。一方、輸出は震災後の混乱により一時的な停滞があるものの、海外経済が引き続き堅調であることからすると、持ち直していくと予想されます。

このような状況の中、当社といたしましては、中長期的・持続的成長を実現するために海外向け製品開発・販売に注力してまいります。

尚、平成24年3月期の売上高は、7,000百万円（前年同期比14.6%増）、営業利益500百万円（前年同期比0.8%増）、経常利益500百万円（前年同期比0.5%減）、当期純利益300百万円（前年同期比6.8%減）を見込んでおります。

【中長期的な会社の経営戦略】

国内市場において今後も設備投資の低迷が続くと予想される状況の中で、当社の中長期的・持続的成長を実現するため、国際化を強力に推進します。海外市場において、国内外の企業との競争に打ち勝ち売上を拡大するため、一層のコストダウンと技術・商品開発に取り組めます。

今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

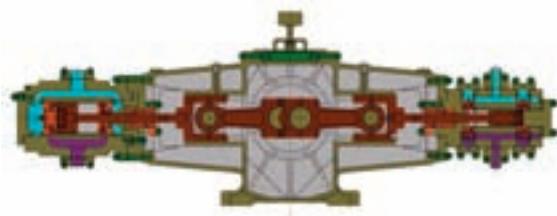
【海外向けCNG圧縮機の開発】

当社は、経営計画の中の重要施策のひとつとして『海外向けCNG圧縮機の商品化』に取り組んでいます。現在、試作機の組立中で、平成23年7月から試運転を開始し耐久性検証試験を行う予定です。

CNG圧縮機とは、燃料に天然ガスを使う自動車に圧縮天然ガスを充填する圧縮機です。当社は、ガスの中に油分が混入しないオイルレス型でCNG圧縮機の商品化を行い、日本国内では品質や価格が認められ高いシェアを維持しています。しかしながら、海外では当社の国内向け仕様と異なるため、海外市場に展開するためには全く新しい機種を開発する必要性がありました。

このような背景のもとに、海外市場向けに新たに水平対向型給油式のCNG圧縮機を開発しました。圧縮機のユニットサイズは極めてコンパクト化しながら、吐出量を1,600Sm³/hに拡大し、吸込弁・吐出弁やピストンリングなどに全く新しい技術を採用しました。その結果、低価格でありながら高効率かつ長寿命を実現できる見込みです。

海外向けCNG圧縮機の商品化は、当社の経営方針である国際化の推進、コスト競争力・技術商品開発の第1段となるもので、売上の拡大に貢献するものと期待しています。



- 基本仕様
- ・水平対向2気筒2段圧縮空冷給油式
 - ・吸込圧力：16～19kg/cm²G
 - ・吸込圧力：250kg/cm²G
 - ・吐出量：1,600Sm³/h
 - ・電動機出力：220kW

業績ハイライト

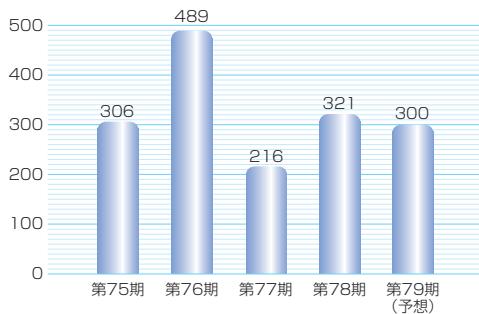
■ 売上高 (単位：百万円)



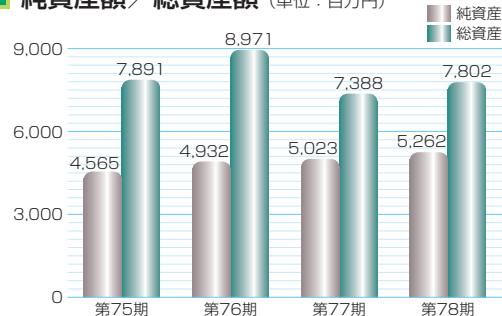
■ 経常利益 (単位：百万円)



■ 当期純利益 (単位：百万円)



■ 純資産額／総資産額 (単位：百万円)



■ 1株当たり純資産額 (単位：円)



■ 1株当たり当期純利益 (単位：円)



貸借対照表 (平成23年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		金 額
科 目		
流動資産		
現金及び預金		654,086
受取手形		382,928
売掛金		1,710,794
製成品		26,769
仕掛品		1,206,225
原材料貯蔵品		297,406
預け金		2,100,000
繰延税金資産		216,946
その他の流動資産		40,759
貸倒引当金		△36,500
流動資産合計		6,599,416
固定資産		
有形固定資産		
建物		108,335
構築物		16,885
機械装置		215,749
車両運搬具		2,282
工具器具備品		30,132
土地		447,525
リース資産		52,675
計		873,587
無形固定資産		
ソフトウェア		13,054
電話加入権		2,879
計		15,933
投資その他の資産		
投資有価証券		13,470
破産更生債権等		109,722
繰延税金資産		229,510
その他の投資		70,916
貸倒引当金		△109,722
計		313,898
固定資産合計		1,203,418
資産合計		7,802,835

(単位：千円)

負 債 の 部		金 額
科 目		
流動負債		
支払手形		883,200
買掛金		230,068
短期借入金		170,000
1年内返済予定の長期借入金		7,500
リース債務		19,670
未払費用		247,050
未払法人税等		72,980
前受金		87,736
賞与引当金		152,730
受注損失引当金		69,700
その他の流動負債		27,757
流動負債合計		1,968,394
固定負債		
リース債務		32,415
退職給付引当金		499,387
役員退職慰労引当金		40,554
固定負債合計		572,356
負債合計		2,540,751
純資産の部		
株主資本		
資本金		1,440,000
資本剰余金		
資本準備金		1,203,008
資本剰余金合計		1,203,008
利益剰余金		
利益準備金		141,600
その他利益剰余金		
別途積立金		625,000
繰越利益剰余金		1,893,859
利益剰余金合計		2,660,459
自己株式		△42,745
株主資本合計		5,260,722
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		1,352
繰延ヘッジ損益		8
評価・換算差額等合計		1,361
純資産合計		5,262,083
負債・純資産合計		7,802,835

損益計算書 (平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額
売 上 高	6,108,055
売 上 原 価	4,740,689
売 上 総 利 益	1,367,365
販売費及び一般管理費	871,115
営 業 利 益	496,250
営 業 外 取 益	16,329
営 業 外 費 用	10,088
経 常 利 益	502,491
特 別 利 益	52,352
税引前当期純利益	554,844
法人税、住民税及び事業税	172,895
法人税等調整額	60,117
当 期 純 利 益	321,830

(注) 1株当たり当期純利益(期中平均発行株式数による) 19円01銭

株主資本等変動計算書 (平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

(単位：千円)

	株 主 資 本		
	資 本 金	資 本 剰 余 金	
		資 本 準 備 金	資 本 剰 余 金 合 計
平成22年3月31日残高	1,440,000	1,203,008	1,203,008
当事業年度中の変動額			
剰余金の配当	—	—	—
当期純利益	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—
株主資本以外の項目の当事業年度中の変動額(純額)	—	—	—
当事業年度中の変動額合計	—	—	—
平成23年3月31日残高	1,440,000	1,203,008	1,203,008

	株 主 資 本					
	利 益 剰 余 金				自 己 株 式	株 主 資 本 合 計
	利 益 準 備 金	そ の 他 利 益 剰 余 金	別 途 積 立 金	繰 越 利 益 剰 余 金		
平成22年3月31日残高	141,600	625,000	1,639,737	2,406,337	△ 42,393	5,006,952
当事業年度中の変動額						
剰余金の配当	—	—	△ 67,708	△ 67,708	—	△ 67,708
当期純利益	—	—	321,830	321,830	—	321,830
自己株式の取得	—	—	—	—	△ 352	△ 352
株主資本以外の項目の当事業年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	—
当事業年度中の変動額合計	—	—	254,121	254,121	△ 352	253,769
平成23年3月31日残高	141,600	625,000	1,893,859	2,660,459	△ 42,745	5,260,722

	評 価 ・ 換 算 差 額 等			純 資 産 合 計
	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	繰 越 延 誤 損 益	評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	
平成22年3月31日残高	18,631	△ 1,699	16,932	5,023,884
当事業年度中の変動額				
剰余金の配当	—	—	—	△ 67,708
当期純利益	—	—	—	321,830
自己株式の取得	—	—	—	△ 352
株主資本以外の項目の当事業年度中の変動額(純額)	△ 17,278	1,707	△ 15,570	△ 15,570
当事業年度中の変動額合計	△ 17,278	1,707	△ 15,570	238,199
平成23年3月31日残高	1,352	8	1,361	5,262,083

キャッシュ・フロー計算書(要旨) (平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

(単位：千円)

営業活動によるキャッシュ・フロー	1,315,624
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 150,784
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 123,056
現金及び現金同等物の期末残高	2,669,086

会社の概要

社名 株式会社加地テック
 KAJI TECHNOLOGY CORPORATION
創立 明治38年5月（1905年）
会社設立 昭和9年2月（1934年）
資本金 14億4,000万円（大阪証券取引所第二部上場）
製造品目 空気及びガス圧縮機

水冷・空冷式圧縮機
 給油・オイルフリー・オイルレスタイプ圧縮機
 石油化学・産業ガス用
 電力・試験・一般産業用
 ペットボトルブロー成形用
 天然ガス自動車燃料充填用
 燃料電池自動車燃料充填用
 各種ガス回収精製装置

繊維機械

タイヤコード用撚糸機
 グラスファイバー用撚糸機
 産業資材用撚糸機

所在地 **本社・工場**
 〒587-0064 大阪府堺市美原区菩提6番地
 TEL：072-361-0881（代表）
 FAX：072-362-4491（総務部）

東京支社
 〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2丁目20番15号
 高田馬場アクセス3F
 TEL：03-3232-2651（代表）
 FAX：03-3232-2650

大阪支店
 〒556-0011 大阪市浪速区難波中2丁目10番70号
 パークスタワー23F
 TEL：06-7662-8600（代表）
 FAX：06-7662-8604

サービスセンター
 〒275-0023 千葉県習志野市芝園2丁目2番6号
 TEL：047-452-7660（代表）
 FAX：047-452-7666

株主の状況

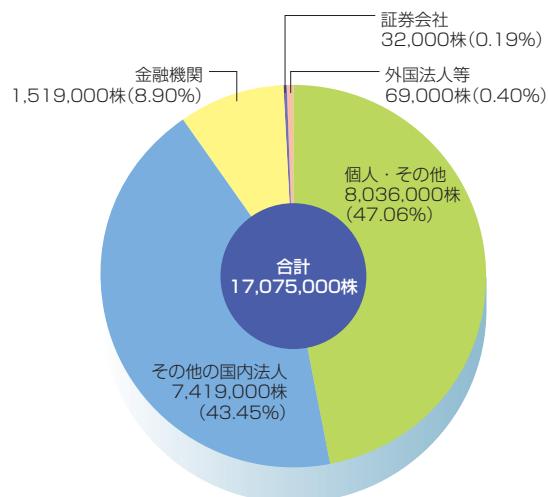
【大株主の状況】

株主名	持株数	持株比率
丸紅株式会社	6,330千株	37.40%
株式会社神戸製鋼所	700	4.13
加地取引先持株会	557	3.29
株式会社みずほ銀行	508	3.00
みずほ信託銀行株式会社	303	1.79
株式会社三菱東京UFJ銀行	200	1.18
東京海上日動火災保険株式会社	183	1.08
松原佐多子	176	1.04
日本生命保険相互会社	172	1.01
加地テック持株会	114	0.67

(注1) 当社は、自己株式254,880株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。

(注2) 持株比率は自己株式254,880株を控除して計算しております。

【所有者別株式の分布状況】



(注) 上記株式数には、単元未満株式105,000株は含まれておりません。

役員 (平成23年6月27日現在)

株主メモ

役職	氏名	担当
代表取締役社長	小林 士郎	
専務取締役	伊藤 芳輝	技術部・生産管理部・生産部担当役員
取締役	岩澤 勇三	東京支社長兼サービス部担当役員兼東京支社営業部長
取締役	野村 和史	大阪支店長兼繊維機械室長
取締役	石原 祥行	生産管理部長
取締役	新井 光司	経理部長兼総務部・経理部担当役員
取締役	岡元 宣昭	
取締役	藏元 正隆	
取締役	日高 勇二	
取締役	中川 寛	
常勤監査役	豎 英巳	
監査役	八尾 尚史	
監査役	入野 敏彦	

- (注) 1. 岡元宣昭氏、藏元正隆氏、日高勇二氏、中川 寛氏は会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
2. 八尾尚史氏、入野敏彦氏は会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
上場金融商品取引所	大阪証券取引所市場第二部
株主名簿管理人兼特別口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付及び電話お問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-288-324(フリーダイヤル)
特別口座管理機関取次所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日
単元株式数	1,000株
公告方法	電子公告(当社ホームページに掲載) [アドレス] http://www.kajitech.com ただし、事故その他やむをえない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。